

第7期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価書（令和2年度上半期）

（4）介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
1. サービス提供体制の支援				
⑱生活支援サービス担い手研修修了者数（人） ※累計値	住まい 地域	158	57	D
感染症対策で今年度の開催を中止することとし、新しい生活様式での実施方法について検討ができなかった。				
2. 介護予防事業の推進				
⑲介護予防教室（運動・栄養）開催数（回） ※年間合計	介護	144	72	A
民間団体と連携したプログラムの実施や周知方法の工夫をして実施することができた。				
⑳介護予防教室（口腔）開催数（回） ※年間合計	介護 医療	7	0	D
動画を公開する等代替事業を実施したが、教室自体の開催には至らなかった。				
㉑地域はつらつ講座開催数（回） ※年間合計	介護 地域	84	0	C
感染症対策で今年度の開催を中止することとし、新しい生活様式での実施方法について検討ができなかった。				
㉒地域サロン等応援事業開催数（回） ※年間合計	住まい 地域	84	0	C
感染症対策で今年度の開催を中止することとし、新しい生活様式での実施方法について検討ができなかった。				

（裏面へ続く）

評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
3. 生きがいづくり・社会参加の支援				
⑳学びキャンパスせとで講師登録している65歳以上の市民の数(人) ※累計値	地域	50	46	A
		感染症対策で今年度の講座開催を中止することとしたが、講師登録者数の増加に向けた周知活動を行った。		

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価
C

担当部署評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からほとんどの介護予防関連事業が中止となった。外出機会も減っていく中、どのように介護予防を行うか等新しい生活様式における事業の在り方を早急に検討し対応する必要がある。

評価委員会評価

各事業上半期の実施内容について議論し、総合評価をCとした。
 新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、これらの事業をどのように再開するか十分に検討が必要。地域包括ケアシステムの基盤は人々のつながりであるため、コロナ禍でも人々のつながりを保つため、他計画とも一体的に対応を考える必要がある。